別紙２

予　算　要　求　資　料

令和５年度９月補正予算　　　支出科目 款：農林水産業費　項：農業費　目：園芸特産物対策費

事 業 名 【新】受託研究等実施事業費

（この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください）
農政部　国際園芸アカデミー　管理調整係　電話番号：0574-60-5250
E-mail：c24413@pref.gifu.lg.jp

１ 事 業 費　補正要求額　　200 千円　（現計予算額：　　0 千円）

＜財源内訳＞

区　分	事業費	財源内訳							
		国　庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財　産 収　入	寄附金	その他	県　債	一　般 財　源
現　計 予算額	0	0	0	0	0	0	0	0	0
補　正 要求額	200	0	0	0	0	0	200	0	0
決定額	200	0	0	0	0	0	200	0	0

２ 要 求 内 容

（１）要求の趣旨（現状と課題）

岐阜県の花と緑の産業に寄与するべく、花と緑に関する高度な知識を持ち、産業を現場で支える担い手として活躍する実務者の育成に取り組むなか、花や緑の分野における高度な知識、技術等を要する問題解決の要請を受けている。

（２）事業内容

国際園芸アカデミーにおいて、花と緑の分野で地域や社会が抱える問題について、地方自治体、団体、企業等からの委託（有料）により研究調査等を行う。

（３）県負担・補助率の考え方
委託者負担

（４）類似事業の有無
無

３ 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
旅費	100	打合せ、現場調査旅費
需用費	100	調査に係る消耗品費（コピー用紙、コピー代、カメラ機材）
合計	200	

決定額の考え方

４ 参 考 事 項

（１）各種計画での位置づけ
なし

（２）国・他県の状況
なし

（３）後年度の財政負担
なし

（４）事業主体及びその妥当性
事業主体：県
国際園芸アカデミーの運営にかかる附帯事業であるため、県が事業主体であることが妥当。

事　業　評　価　調　書（県単独補助金除く）

■	新規要求事業
□	継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか
　地方自治体、団体、企業等からの花や緑の分野に係る高度な知識、技術等を要する問題解決の要請に応える。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前（R ）	R3年度実績	R4年度目標	R5年度目標	終期目標（R ）	達成率
①						
②						

〇指標を設定することができない場合の理由

　事業実施が依頼者から本学への依頼に基づくものであり、指標化は困難。

（これまでの取組内容と成果）

令和２年度	・取組内容と成果を記載してください。
令和３年度	 指標①　目標：____　実績：____　達成率：____　％
令和４年度	令和６年度当初予算にて追加 指標①　目標：____　実績：____　達成率：____　％

２ 事業の評価と課題

（事業の評価）

・事業の必要性（社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断） ３：増加している ２：横ばい １：減少している ０：ほとんどない	
（評価）	
・事業の有効性（指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか） ３：期待以上の成果あり ２：期待どおりの成果あり １：期待どおりの成果が得られていない ０：ほとんど成果が得られていない	
（評価）	
・事業の効率性（事業の実施方法の効率化は図られているか） ２：上がっている １：横ばい ０：下がっている	
（評価）	

（今後の課題）

・事業が直面する課題や改善が必要な事項

（次年度の方向性）

・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか

　地方公共団体等が抱える課題を解決することにより、花と緑の産業の発展につながることから、通常業務に支障のない範囲で実施する。

（他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果）

組み合わせ予定のイベント又は事業名及び所管課	【○○課】
組み合わせて実施する理由や期待する効果 など	